

平成15年7月26日07時13分頃の宮城県北部の地震の余震発生確率
(8月20日06時現在での推定)

・ M4.5以上の地震の発生する確率

(24時間以内)

8月20日09時から 24時間以内	10%未満
----------------------	-------

(72時間以内)

8月20日09時から 3日間以内	10%
8月21日09時から 3日間以内	10%
8月22日09時から 3日間以内	10%
8月23日09時から 3日間以内	10%
8月24日09時から 3日間以内	10%未満

(M4.5: ところによって震度5弱程度になると予想される)

8月24日以降の72時間確率で10%未満となりましたので、今回(8月20日)の発表をもって、平成15年7月26日07時13分頃の宮城県北部の地震の余震発生確率の更新を終了します。

余震発生確率は、発表毎に最新のデータまでを用いて更新しています。データの蓄積が増えるほど、余震活動の特徴を正確に捉えることができるので、より正確な予測が可能となります。

発生する余震の数は、本震からの経過時間におおむね反比例しますので、余震発生確率は、本震からあまり日数が経っていない時点では日を追うごとに小さくなりますが、本震から日数が経つほど発生確率の減少の仕方が緩やかになり、あまり変化しなくなります。上記の表で8月20日から23日までの数値が変化しないのはこのためです。

なお、このまま余震活動が順調に減衰していくと、M2.7以上の余震は、8月末には1日当たり1.5回(2日間に3回)程度に少なくなると予想されます(M2.7: ほぼ震度1程度を観測する規模)。

24時間以内と72時間以内の数値の意味

期間を長くとるにしたがって、地震の発生する確率は高くなります。たとえば、期間を非常に短く、たとえば1分以内とすれば地震が発生する可能性はほとんどありませんが、1時間、24時間、72時間というように期間を長くするにしたがって、その期間に地震が発生する可能性が高くなります。数日程度までとれば相当の発生確率があることを理解していただくために、24時間以内の発生確率にあわせて、72時間以内の発生確率もあわせて発表します。